

回想法の夕べ・8月号

平成26年 8月 1日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

蒸し暑い日が続きます

他人の力も必要

夫の介護も3年目に入りました。自宅で過ごしたいと願う夫の気持ちを大事にしてきましたが、1日24時間、1年365日休みなしの介護の日々は、頭では分かっている、家族ゆえに、遠慮ない言葉も出てしまいます。

失語症の夫は、意思を伝えられなもどかしさから、家族以上にストレスを抱えていないだろうか。家族も、ここは少し距離を置いてお互いリフレッシュすることも大事ではないかと、夫を家の近くの施設に2週間預かってもらうことにしました。



精神的にもほっとしています。

国は、介護保険の見直しが控えています。施設から在宅への流れの中で、在宅でいかにして介護をしてゆかなければならないのか、誰にでもやってくる古い支度を、真剣に考えてゆかないといけません。元気に暮らせる保証がないのだからこそ真剣に。

男性も人生80年の時代

日本人の男性の平均寿命が80.21歳。始めて80歳を超えたと報じられました。男性の平均寿命は前年の世界第5位から4位に順位を上げたそうで、男性の世界1位は香港の80.87歳だそうです。

平均寿命が延びたのは、各年齢でガンや、心疾患、脳血管疾患、肺炎の死亡状況が改善した結果だそうで、日本は、男女とも平均寿命が80歳を超えました。医療保険も充実し、安心して医療を受けられる日本では、医療技術も向上しているのでさらに平均寿命は延びることが予想されます。

誰でも年をとれば認知症になるといわれており、長生きすればするほど、認知症の人の数も増えてきます。しかし、少子化でそれを支える若い世代が少ないというのなら、高齢者の介護は誰がするのだろうか？外国人やロボットに介護をされる世の中になるのだろうか？煮物のようなお袋の味のする食事は作ってもらえるのだろうか？

昔見たチャップリンの「モダンタイム」を思い出した。どんなに便利になっても、どんなに機械化されても、感情の部分は通い合える介護をしてもらいたいものです。

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 担当 赤嶺 080-4209-5708

8月の回想おしゃべり

8月は、歴史民族資料館での活動はお休みさせていただきます

8月のおしゃべりサロン

開催場所 市役所地下元職員食堂
開催時間 2時～4時
開催日 25日(月)